



令和4年12月
定例会

美作市 議会だより

第4号

令和5年2月20日
発行

おもな内容

一般質問	2
委員会報告	8
議案等審議結果	11
市議会からのお知らせ	12

トム・ソーヤ冒険村、右手養魚場センター

一般質問

◆一般質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。
◆12月定例会の一般質問発言順に掲載いたします。



やまもと まさき
山本 真樹

◆物価高騰に伴う市民支援について

問 他市町村では様々な趣向を凝らして実施している。他市町村は出来て本市では市民全体への支援は出来ないのか。

答 臨時交付金が追加されるなど有利な財源ができた場合には検討してまいりたい。

◆マイナンバーカードについて

問 真庭市が郵便局と申請支援業務を結ばれて申請者が増加している。本市は郵便局と業務受託は考えないのか。また全国各自治体で実施中の地域独自マイナポイントを本市でも実施できないのか。

答 郵便局を挙げて申請サポートをしていた引き続き実績が上がるといふことであれば検討してまいりたい。地域独自のポイント給付施策としては様々な活用が期待されることから本市においてどのような取り組めるのかの確認と検討を進めてまいりたい。



○他の質問：「地域施設の維持管理と地域防犯対策について」、「大原地域の商業施設について」、「外国人留学生受入れについて」、「体育施設の管理運営について」



もりもと すえのぶ
森元 末信

◆美作市内の学校施設について

問 令和4年10月22日に開催された、子育て世代の意見懇談会において、①体育施設照明のLED化、②校内の無線LAN環境整備、③特別教室へのエアコン設置、これらの意見と要望が出た。市はどのように考えているのか。

答 特別教室へのエアコン設置や体育館の水銀ランプの改修は、財源の問題もあり、進んでいなかったが、学校施設環境改善交付金事業において、大規模改造質的整備事業費の合計額が、1校当たり2,000万円から400万円に引き下げられ、事業化がし易くなった。今後は、整備計画の見直しと、国、県との協議を進め、早期の事業化を目指す。市長答弁：特別教室への無線LAN環境整備は、令和

5年度を目標に整備を進め、確実に実施をする。



○他の質問：「美作市の森林整備について」



わだ いさお
和田 いさお

◆見守り活動について

問 現行の組織・体系のバージョンアップはどのように考えているか。

答 当市のような過疎・高齢化が進みつつある自治体においては、市民の行政ニーズを的確に捉えるため、行政等がアウトリー

チ活動を積極的に行うことが重要である。検討を進めているが、美作市再任用職員の総合支所、殊に、地域の自主的活動の基盤がゆらいでいる地域への配置である。過疎・高齢化により、地域内での協働活動や見守り活動が困難となる中、行政経験等を活かし、市民の要望等を的確に把握し、必要な支援にかなげていくことを目指す。しかし、現状の職員定数の適正化等にも配慮を行う必要があるため、まずは過疎・高齢化率の高い地域からモデル事業として取り組みたい。



○他の質問：「美作市農政の現状と問題について」



やまもと まさひこ
山本 雅彦

◆マイナンバーカードについて

問 マイナンバーカードを活用した不在者投票の投票用紙等の請求が出来ないか。

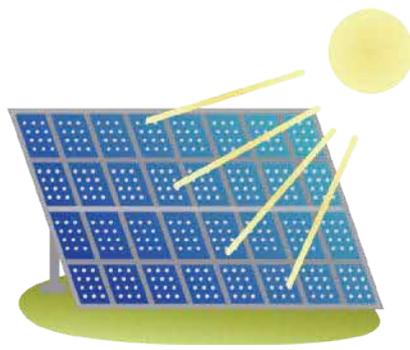
答 国が運営するマイナンバーカードを利用したマイナポータルのぴったりサービスや、各自治体が運営する電子申請システムなどを活用することで可能であるが、本市では実施していない。市の選挙管理委員会において、提案したところ、全委員の了承を得たので、導入に向けて取組を進めたい。

◆太陽光パネル税について

問 今後の考え方は。

答 市長答弁：協議対象の2社の内、1社は負担が過大であることが論点の中心であり、他の1社は立論が無茶であるとの主張であり、難しいが、まず前者と

協議し、妥協点が見つければそれをベースにして更に協議を進めていきたい。



○他の質問：「新型コロナウイルス感染症について」、「循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行について」、「美作市の防災行動計画（タイムライン）について」、「農林漁業政策について」、「市税について」、「女性デジタル人材育成プランについて」



すなみ よしお
角南 良雄

◆がん検診・特定健康診査等の状況について

問 個別検診を始めて3年目になるが、受診率が低い。また、女性対象の行政懇談会では検診に対する意見が多く、国保運営協議会においても集団検診の併用を求める答申が出ている。集団検診を併用し、送迎バスを運行すれば検診の受診率がアップするのではないか。検討状況を尋ねる。

答 コロナ禍により個別検診を始めたが、要精密検査率が高く、過去の画像データと比較することで早期に精密検査へつなげることができると、検診の精度が高い個別検診を引き続き実施する。しかし、乳がんと子宮頸がんについては、市内に専門医療機関が少ないため、3月に市内2カ所で補完的に集団検診を実施する。交通弱者対策は、行政全体の課題として捉え、関係部署と検討する。

○他の質問：「合併特例債について」、「子宮頸がんワクチンに

ついで、「道路利用者等及び道路維持管理について」



たむら ひであき
田村 秀昭

◆水道水の「品質」について

問 異臭、味のクレーンが多い。水質検査等対策を講じているのか。

答 水質検査を浄水は月1回、詳細検査を3か月に1回、更なる検査を年1回実施。水質は問題ない。取水口が梶並川と吉野川でもリスクは同じ。再編計画を策定中で、施設更新時に水源や臭気対策に特化する。施設の耐用年数は、あと約15年。安全で美味しい水の提供に努める。

◆全国学力テストの反省について

問 全国学力テストの結果(県下総合最下位)と理系科目への取組について。

答 全教科で全国平均を下回り、特に中学校の数学は厳しい。思考力・判断力・表現力が課題であり、深い学びを実感する授業が必要。岡山理大と協働で、理科大好き応援事業を強化する。また、公民館事業として、市内モノづくり会社とのプログラム開発を進める。



○他の質問:「空家・空地の管理について」、「森林環境譲与税の使途について」



くらち しげお
倉地 重夫

◆小学校・中学校の不登校やいじめについて

問 いじめが原因で不登校や、長期欠席につながるケースはないのか。

答 いじめの解消については、行為が止まってから少なくとも3か月は経過を観察し、心身の苦痛を感じてないと確認できたものと定義されている。市内では3か月を経過しても解消とはせず、引き続き丁寧な観察をし、再発防止につなげている。いじめが原因で不登校につながったケースは無い。

◆高等学校へ通う子育て家庭の支援について

問 通学費の補助等10万円を超える支援を行っている市もある、本市の取り組みについて。

答 市内にある高校への進学率アップの観点から市外の高校に通う生徒の支援については検討が必要。

○他の質問:「美作市水道事業経営戦略について」、「物価高騰の中で生活弱者への支援について」



かんばら かずとし
神原 一寿

◆地域・地区からの意見要望について

問 意見要望の年間件数とその対応について同じ案件の要望を何度も提出する必要があるか。

答 行政懇談会や各部署への意見要望は、合計678件。要望の種類によっては、国、県、公安委員会へ進達。国・県道、県管理河川等の要望は、毎月まとめて県に要望し、建設課や支所から回答。市への要望は即時対応を心がけているが、道路拡張等については、用地交渉や地権者の合意等が必要であり、数年かかる場合もある。要望書の提出段階で、地権者の同意書を添付するようお願いしている。また、県の回答が「現地を確認し検討」という回答であっても、その段階で自治会代表者へ第一報として連絡している。基本的に同

じ要望書は、複数回提出しなくてよい体制としている。

○他の質問：「除雪作業の現状と樹木・竹の伐採について」



にしやま まさし
西山 正志

◆美作市における公民館及び集会施設等の設置基準について

問 公民館及び集会施設等の位置づけについて尋ねる。

答 令和3年3月に制定した条例に基づき、公民館は令和7年度までに、各中学校区に1かつ市内に5または6館に整理し、集会施設等は令和8年度までに、各地区自治振興協議会構成区域内に1かつ市内に30程度に整理する。順次、自治振興協議会代表者と協議し、取り組みを進めていく。豊国公民館を例に挙げると、豊国地区には豊国公民館と豊国地区多目的集会所

があるが、同じ施設のことである。その施設を現在、豊国地区の拠点施設として利用している。市が進めている再編整備を行う上で、集会施設等設置及び管理に関する条例により、市が管理する施設に再編することを検討している。



○他の質問：「鳥獣害及び農家支援等について」、「農家への今年度の支援について」、「美作火葬場の新設計画について」



あんどう いさお
安藤 功

◆保育現場の働き方改革について

問 保育現場が抱える課題と現状、ICT化による保育士の負担軽減について尋ねる。

答 大きな課題は慢性的な保育士不足である。再任用・再雇用の保育士で保育士不足を補い、また、会計年度職員や定年延長職員を配置することで事務的な負担軽減を今後も図っていく。ICT化については調査研究を進めていく。

◆人工透析について

問 多大な負担を身体的にも、経済的にも強いられている透析患者さんの負担軽減を図るため、月額交通費上限5,000円に加え、別途必要となる文書作成費用の補助ができないか。また、市内に人工透析のできる医療機関を設置できないか。

答 今後は文書作成費の費用助成についても早期に検討していきたい。医療機関設置については医師会会長と相談してみたい。



○他の質問：「奨学金返還支援について」、「空き家・空き地問題について」



なかたに ゆうすけ
中谷 祐輔

◆鳥獣被害対策、ナラ枯れについて

問 全国でも年々ナラ枯れ、鳥獣被害が増加している。現在の美作市の対策について尋ねる。

答 鳥獣被害対策として、捕獲については、年間を通じて美作市猟友会に有害鳥獣駆除許可を出しており、駆除を行っている。

防護については、農地への防護柵設置に国庫補助事業を活用し、地域で設置を行う柵の資材費10割補助を行っている。熊対策では、要望等があれば講習会を開催し、熊を人里に近寄せない対策の指導を行っている。市として、補助金等はないが、今後要望が出てくるようであれば検討したいと考えている。

また、ナラ枯れについては、令和3年度において30ヘクタールの調査を行い、536本の処理を行っている。



○他の質問：「大山展望台について」、「県道馬橋平福線の横断歩道について」、「米の価格について」



◆フツ化物洗口モデル事業について

問 学校園におけるフツ素を使った虫歯予防事業の市としての考えは。

答 事業導入には学校園や保護者の十分な理解を得ることと慎重な判断が必要と考える。市としては引き続き歯磨き指導を充実させ、歯と口の健康づくりを進める方針。

◆これからの美作市立小中学校の在り方について

問 少子化が進む現状を踏まえ将来へのビジョンはあるか。

答 今後、児童生徒数の減少が進んでも即座に統廃合を進めるのではなく学校を存続していくことを第一義として考える。複数の小規模校がオンラインで繋がり合同授業をすることな

ど児童生徒の成長にもつながる方策を研究していく。

○他の質問：「国道・県道の管理について」、「特別支援学校・不登校特例校の進捗状況について」



◆子育て中の家計支援、奨学金減免について

問 子育て中の家計支援、奨学金減免について尋ねる。

答 奨学金の減免制度については、子育て中の家計支援、若年者の地方定着支援にも資する制度である。人口流出の対策として、若者の地方定着、大学卒業後に市内企業へのUターン就職等を促す奨学金返還支援は重要な政策となる。本年度より、国からの財政措置が、独立法人の日本学生機構の奨学金のほか、地方公共団体が独自の奨学金の返還支援を対象とすることが、

国の要綱により明確化された。今後、制度設計の内容の検討を進める。

◆子どもの安心安全について

問 スクールバス車内に置き去りになった場合の模擬訓練を行っているのか。

答 実施していないので、早急に各学校、園で行う。



○他の質問：「学校でのICT支援について」、「学校法人大阪滋慶学園について」



◆福祉避難所の整備状況について

問 福祉避難所の整備状況、特に停電、断水の対策は。

答 停電は、7中3施設が非常用電源を備えており、断水は備蓄品の配給、給水車の支援になる。発電設備がない施設は、市がポータブル発電機を貸し出すことも可能だが、避難所にポータブル電源等を配備しておくことも検討する。また蓄電池も検討していきたい。

◆ 急激な円安ドル高の影響、対策について

問 急激な円安ドル高の美作市民、市内産業への影響調査と今後の対応は。また、特産館みまさかにおいて、輸出事業を推進してはどうか。

答 影響調査は実施できていないが、原材料の高騰が多くの産業に影響を及ぼしていることを踏まえ、給付金で事業者支援をしている。輸出の取組については、特産館みまさかへ提案し、本市の海外との友好関係を活用し

た輸出先開拓についても検討したい。

○他の質問：「美作市原油・物価高騰対策事業者支援給付金制度の状況」



わだ ひろぶみ
和田 広宣

◆ 高齢者の安心・安全について

問 高齢者や障がい者の方が、住み慣れた街で安心して暮らすため、緊急通報装置・高齢者見守りシステムについて重要と考えるが、その設置状況は。また、住宅用火災警報器や配食サービス等、市の見守りの政策をまとめて推進すべきと考えるが、如何か。

答 新規の設置が伸び悩んでいる状況であり、利用料補助も含め検討する。見守りに関する制度等のパンフレットを作成し、見守り会議等で推進していきたい。

◆ 美作市立特別支援学校・不登校特別校の進捗状況について

問 構想発表から6年以上経過したが、要望に沿った方向に向かっていているのか。

答 県教育委員会と、模索しながら進めている。まず中学校の設置に取り組み、その後、高等部を設置する方向。実現不可能な場合も想定し、滋慶学園高校との連携を検討している。



なかやま ただあき
中山 忠明

◆ 新美作火葬場建設の計画について

問 新美作火葬場建設に係る進捗状況について尋ねる。

答 新火葬場建設は、基本構想で現在場所又はその周辺に建設することとして現在検討中である。地元との協議は、必ずしも順調ではないが改めて地元に出向き意見交換を考えている。市長答弁：「地元についての考え方は、狭い意味での地元の東浜、二倉田と、大きな地元としての旧美作町を中心とした利用者の集団と考える2つの地元がある。大きな地元の方は、幕谷周辺(現在の火葬場の場所)でとの思いがあるのではと思っている。多くの方々の思いがここに集まっており、機会を作っていたら、私が多くの市民の代表として頭を下げて参りたいと思っています。」

○他の質問：「美作市誕生から20年の節目が近づいているが、今後どのような市を作っていくのか」

産業建設常任委員会の報告

委員長 田村秀昭 副委員長 和田いさお
委員 中谷祐輔、山本真樹、西村大司、山本雅彦

12月12日、21日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。【議案11件】

議案第73号 美作市農業共同利用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

現在は使用がなく、今後も使用予定がない施設について条例改正を行う。

議案第74号 美作市宮露天風呂設置及び管理に関する条例の廃止について

土地賃貸借期限が満了する令和5年1月末をもって廃止する。

議案第75号 市道路線の認定について

公共性が高く市道認定基準に適

合する真殿地内の2路線、湯郷地内の1路線の合計3路線を市道に認定するもの。

議案第76号～79号、89号 指定管理者の指定について

令和5年4月1日から、湯郷駐車場（5年間）、あいだ館（3年間）、作東バレンタインホテル（3年間）、大芦高原キャンプ場（5年間）、美作市愛の村パーク（5年間）の指定管理者を指定するもの。

議案第80号 令和4年度美作市一般会計補正予算（第7号）産業建設委員会所管分

主なものは、新規就農者育成総合対策補助事業7,341千円、新型コロナウイルスに負けるな

給付金事業10,000千円の追加、地域観光事業者等支援事業費67,000千円。

議案第86号 令和4年度美作市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収支において、動力費等を24,420千円増額し、人件費8,067千円を減額。資本的収支において、浄水施設内の修理箇所増加に伴い、2,000千円増額。

議案第88号 令和4年度美作市下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的収支において、動力費、企業債支払利息の補正により、収支ともに5,662千円追加。資本的収支において、企業債還元金の補正により、収支ともに70千円を追加。

以上の議案11件については、執行部からの説明の後、質疑討論を行った結果、可決しました。

主だった議案質疑内容

問 指定管理施設において、エネルギー価格高騰対策補助金が予算化されていない施設がある。全施設を统一的に想定しておくべきではないか。

答 全施設に申請の案内をしたが、自助努力により必要としない施設もあり、各施設に判断を任せた結果。全ての指定管理施設のバランスを考慮し、再度、指定管理者と調整を行う。

問 市宮露天風呂の閉鎖理由と赤字額は。泉源はどうする。

答 過去17年間の累積の赤字額が、124,000千円であり、今後の改善の見込みがないため。現状、泉源の利用予定はない。



総務常任委員会の報告

委員長 青山慶 副委員長 西山正志
委員 神原一寿、森元末信、倉地重夫、鈴木悦子

12月13日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

【議案5件】

議案第71号 美作市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例について

地方公務員法の改正に伴い、定年を引き上げ、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制に係る規定を追加するほか、所要の規定整備を行うもの。

議案第72号 美作市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

し尿汲み取り手数料に係る消費税及び地方消費税を、現在の内税から外税に変更するほか、物

価高騰に対応するために、し尿汲み取り手数料を増額するもの。

議案第80号 令和4年度美作市一般会計補正予算(第7号)総務委員会所管分

主なものは、公金収納POS(ポス)システム導入に係る経費1,874千円。

議案第81号 令和4年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

主なものとして、事業勘定では、人件費1,015千円の増額、過年度県補助金の返還に伴い、諸支出金の償還金2,660千円の増額。直営診療施設勘定では、医療資材高騰分として638千円、発熱外来での新型コロナ対応新

薬2,000千円、診察室改修工事費854千円、薬剤分包機の更新で1,518千円の増額等。

議案第85号 令和4年度美作市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主なものは、人件費を89千円の減額、過年度還付金の増加により保険料還付金を100千円増額。

以上の議案5件については、執行部からの説明の後、質疑討論を行った結果、可決しました。

主だった議案質疑内容

問 令和5年度から制度が完成するまでの約10年間、定年の段階的な引き上げ期間中に、定年退職者がいない年が1年おきに5回生じるが、新規採用職員等の定員管理をどのように考えているか。

答 退職者を補充する形で隔年での採用を行うと、将来的に年

齢構成に不均衡が生じる可能性があることから、毎年平準化した人数を採用していきたい。一時的に職員数が増加する時期もあるが、10年後の職員数が現行と同水準となるよう計画的な採用を行いたい。

問 定年延長による給与水準、人件費への影響をどのように分析しているのか。

答 給与水準は、国と同様の改正であることから、国家公務員と地方公務員の給与比較時に使用する、ラスパイレズ指数に変化はないものと考えている。人件費についても、職員数と同様に10年後には現在と同水準となるよう計画的な採用を行いたいと考えている。

問 大芦高原の体育施設も指定管理施設であるが、今回のエネルギー価格高騰に対する補助をどのように考えているのか。

答 全ての施設について、内容を再度確認する。

3月定例会日程(予定)

2/28(火) 本会議(開会)	3/9(木) 本会議(議案質疑)
3/3(金) 本会議(代表質問・一般質問)	3/10(金) 常任委員会
3/6(月) 本会議(一般質問)	3/13(月) 常任委員会
3/7(火) 本会議(一般質問)	3/14(火) 常任委員会
3/8(水) 本会議(一般質問・議案質疑)	3/24(金) 本会議(閉会)

正式には議会運営委員会で決定し、みまちゃんネルデータ放送と美作市ホームページに掲載いたします。本会議は、みまちゃんネルで生放送いたします。また、本会議当日の夜も再放送いたします。

請願・陳情について

市政に対して要望があるときは、請願・陳情を市議会に提出することができます。請願書の提出には議員の紹介が必要となりますが、陳情には議員の紹介は必要ありません。議会で受け付けた請願・陳情は、関係する委員会で審査し、本会議で採択されたものは、執行機関に送付いたします。本会議開催前には締切日が定められますので、詳しくはお問い合わせください。

議会事務局 ☎0868-72-0922

市議会からのお知らせ

本会議(定例会・臨時会)は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。本会議の傍聴を希望される方は、市役所4階の議場受付で住所・氏名等を記入の上、入場してください。傍聴者には傍聴券を交付します。

市議会の本議会がみまちゃんネルとインターネット(YouTube)でご覧いただけます。
※インターネットで閲覧できるのは代表質問、一般質問に限ります。
インターネットで閲覧される場合は、YouTubeで次の内容を検索してください。



岡山県美作市議会公式チャンネル

岡山県美作市議会公式チャンネル

編集後記

新年を迎えてはや2か月が経とうとしており、立春を過ぎても寒さがぶり返す時期ではございますが、皆様お健やかにお過ごしでしょうか。本年の干支は卯年、この卯(うさぎ)についての特徴は【飛躍】・【向上】とあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。さらに干支として卵が示す時間帯は午前5時から午前7時の間、また方角は東です。新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザといった油断のできない状況の中ではありますが、私達も議会の中で議論を通し市民の皆様と共に【飛躍】・【向上】のできる1年となるよう本年も取り組んでいきます。また、今後も議会だより発行特別委員会として解りやすい内容となるよう編集に努め、市議会だよりが身近で待ち遠しくなるよう、紙面のさらなる充実に向けてまいります。

(森元 末信)

議会だより発行特別委員会

- 委員長 中山 忠明
- 副委員長 山本 真樹
- 委員 神原 一寿
- 森元 末信
- 新免 仁憲
- 西村 大司

- 新免 仁憲
- 西村 大司

